

1 ネット環境の有無による利用方法の違い

	ネット環境あり	ネット環境なし
写真や動画の撮影、編集	○	○ 保存先は端末内
インターネットで調べ学習	○	×
動画視聴	○	×
ワークシートの書き込み (ドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーション)	○	○ 事前にデータを端末内に保存しておけばできる
ワークシートの保存、提出	○	△ 提出はできない 保存先は端末内のみ
eライブラリ	○	△ 事前にダウンロードしておいた問題のみ取り組める
心の天気	○	×

2 ネット環境がない家庭でも課題に取り組めるようにする具体的な方法

(1) 端末内に保存する方法

- ドキュメントやスプレッドシートで作成したワークシートを前もって各端末に送っておき、それを端末内に保存してから持ち帰らせる方法。
- 全員が同じ課題に取り組めるため、提出物の管理がしやすい。
- ネット環境がない家庭でも情報端末を操作する機会を保障することができる。
- ▲ 事前に端末内に保存する方法や、家庭で取り組んだものを端末内に保存する方法を事前にレクチャーする必要がある。

(2) 紙媒体のものを与える方法

- ワークシートを紙媒体にして渡す方法。
- 事前に特別な操作をレクチャーする必要がなく、準備が簡単。
- ▲ 2種類の提出物の管理となり、煩雑になりやすい。
- ▲ ネット環境がない家庭で情報端末を操作する機会が減る。

(3) ネット環境の有無に影響しない課題に限定する方法

- 写真・動画撮影、eライブラリの限定課題など、ネット環境がなくても取り組める課題にする方法。
- ネット環境がない家庭に対して特別な対応をとる必要がない。
- ▲ 取り組めるものに限界がある。